

質疑応答(要旨)

Q1	貴金属事業での競合関係、アサカ理研の強みを教えてください。
A1	貴金属の回収・精製業者が競合企業になると考えております。 当社の強みは、貴金属の洗浄事業における高品質洗浄と短納期です。この点において、競争優位性を持っていると考えております。
Q2	貴金属事業における各社のシェアを教えてください。
A2	各社のシェアは、正確な統計データがなく、憶測や感覚でお答えすることは差し控させていただきます。
Q3	光触媒において、特許を持っているのか教えてください。
A3	光触媒に関する特許を持ってはいましたが、現在は特許期限が満了となっております。 大手競合他社としても、光触媒に関する特許が切れるタイミングであることから、競争は激しくなるものと推測いたします。
Q4	光触媒の事業規模はどのくらいの事業規模を想定しているのか教えてください。
A4	事業規模につきましては、まだお答えする段階にございませんので、お答えは差し控させていただきます。
Q5	2018/9期の実績において、上期と下期で業績の差が大きい理由は、市況の要因と電子デバイス分野の生産動向、どちらの影響が大きかったのか教えてください。
A5	電子デバイス分野において、経済環境が悪くなったことによる影響が大きいと考えております。
Q6	2019年9月期の見通しについて教えてください。
A6	電子デバイス分野の生産指数および貴金属の相場は下げ止まるのではないかと考え、事業計画を立てております。 下期にかけ、現在取り組んでいる新規事業が拡大することにより、下期における売上高および各種利益は上期と比較して増加する計画としております。
Q7	2019年9月期の予想において、上期・下期で、各種費用の出方に偏りがあるのか教えてください。
A7	費用の大きな偏りはございません。

(ご留意事項)

この資料は、弊社決算説明会にご出席できなかった方のためのご参考として掲載しているものであり、説明会でお話した内容をそのまま文章に起こしたものではありません。